

プレスリリース: 2016年11月24日
トピック: サーバーストレージネットワーク

日本ヒューレット・パッカード、ミッションクリティカルストレージ「XP7」の機能を拡張

- 「XP7」の性能を強化するとともに、最新のデータ処理機能を追加 -

2016年11月24日

日本ヒューレット・パッカード株式会社

日本ヒューレット・パッカード株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長執行役員:吉田 仁志、以下 日本ヒューレット・パッカード)は、ミッションクリティカル、エンタープライズ向けストレージとして、多くの実績があるXPストレージファミリの第7世代機である「XP7」ストレージにおいて、性能および容量効率を向上させる新機能を発表しました。

高いストレージ性能や耐障害性が求められる企業では、超高密度なフラッシュベースのミッションクリティカルストレージシステムの導入が進んでいます。現在、金融、製造、医療など、様々な分野で、多数の企業がハイブリッドフラッシュおよびオールフラッシュで構成された「XP7」ストレージを利用しています。

最新の「XP7」ストレージでは、機能拡張により、処理パフォーマンスが強化され、さらに圧縮や重複排除といったデータ処理機能が、フラッシュ、ディスク、外部接続されたストレージの全てで対応可能となります。

「XP7」ストレージ アーキテクチャの主な新機能は以下の通りです。

- 性能を60%向上(最大480万IOPS)(*1)
- ハードウェアアクセラレーションによるインラインデータ圧縮にも対応する14TBのフラッシュモジュールデバイス(FMD)を追加
- コントローラベースの重複排除およびデータ圧縮機能を追加
- パフォーマンス解析ツール「XP7 Performance Advisor」ソフトウェアを、さらに直感的で使いやすく強化
- 旧XPシステムから、ハイアベイリティの状態を維持しつつ、「XP7」ストレージへのデータ移行をサポートするデータ移行サービス

〈本日発表の製品〉

製品名	希望小売価格(税抜)	販売開始日
「XP7」ストレージ	最小構成価格 56,978,000円～	11月1日

*1 最大480万IOPSを1ミリ秒のレイテンシで実現。第二世代コントローラおよび14TB FMDを搭載した「XP7」と現行「XP7」システムとの性能テスト(8K、100% Read、100% Random)による比較。

- 新製品に関する製品情報は、以下のURLを参照してください。
<https://www.hpe.com/jp/ja/storage/enterprise-xp.html>

- ストレージ製品写真ライブラリ
<http://h50146.www5.hp.com/info/newsroom/library/hpe/storage/>

- プレスルーム
<https://www.hpe.com/jp/ja/newsroom.html>

#

文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

- お客様からのお問い合わせ先
カスタマー・インフォメーションセンター
TEL: 0120-268-186 (携帯、PHS: 03-5749-8279)
ホームページ: <http://www.hpe.com/jp/>